

2014
Vol.9

九大別府病院 だより

Kyushu University
Beppu Hospital

- ② 新年の挨拶
- ③ 米国外科学会奨学金授与
- ④ 紹介元の医療機関のご紹介
- ⑥ 新任医療職員の紹介
認定証を取得しました
- ⑦ 新設外来のご案内

病院の理念・基本方針

理 念

患者さんに満足され、医療人も満足する医療の提供ができる病院を目指します。

基本方針

- ◆地域医療との連携及び地域医療への貢献の推進
- ◆プライマリ・ケア診療の充実
- ◆全人的医療が可能な医療人の養成
- ◆専門医療の高度化を目指した医学研究の推進
- ◆国際化の推進
- ◆生活の質が向上できる医療の提供

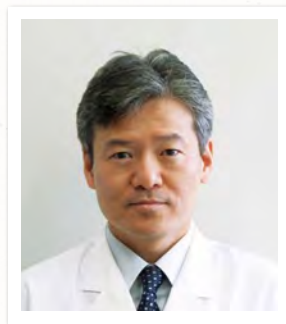
患者さんの権利と責務

私どもは患者さんの権利を守り、病院の理念に基づいた、公平で良質な医療を提供することを目指します。



九州大学病院別府病院
Kyushu University Beppu Hospital

新年の ご挨拶



九州大学病院
別府病院長

三 森 功 士

～謹賀新年～

昨年は格別の御厚情を賜り、誠にありがとうございました。厚く御礼を申し上げます。本年も当院職員一同、一丸となって皆さんにご満足頂ける医療をご提供できるように心がける所存ですので、何とぞ昨年同様のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

当院は、平成23年4月に九州大学病院別府病院として再出発し、やがて丸3年が経過しようとしております。お陰様で新設の整形外科は毎年手術件数を漸増しています。放射線科は高度な放射線診断システムのもと、治療専門医を2名に増員し更なる診療体制の充実を図っております。外科には新しい乳腺担当医も加わり、継続して「鏡視下手術と難治癌の克服」を推進しています。

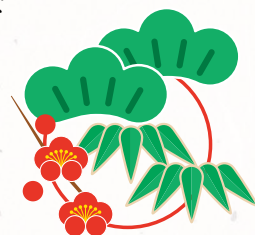
昨年の当院における最大の慶びは、6月に免疫・血液・代謝内科および循環・呼吸・老年病内科を統一する内科診療科長として堀内孝彦先生をお迎えしたことであります。堀内先生の全国に轟く知名度とそのお人柄で、近隣の先生方から、多くの患者さんのご紹介を頂いております。

当院は内科、整形外科、放射線科そして外科、麻酔科という5診療科の体制を完全に整えることができました。また4月から着任した岩谷友子総看護師長のもと、患者本位の安全・確実でゆとりのある看護を提供させていただいております。さらに、7月からはリウマチ膠原病内科学共同研究部門 教授として大変ご高名な塩澤俊一先生をお迎えしており、世界的な研究の発展に高い期待が寄せられています。

われわれは昨年より「あきらめていた笑顔をとりのどす病院」というフラッグを掲げ、脊椎疾患、膠原病・内分泌疾患そして(血液・固形)悪性腫瘍という難治性疾患を対象に診療を展開しております。本年も別府市民の皆さんの為に、別府に居ながらにして九州大学本院と同じレベルの診療を進めて参ります。さらに、当院は別府市に存在する唯一の大学病院でありますので、「臨床研究の推進」についてもアカデミアならではのワクワクする様な新たなプランを随時打ち出して参りたいと存じます。

末筆で恐縮ではございますが、皆様のご健勝と益々のご発展を心よりお祈り致します。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



「米国外科学会国際客員奨学金」授与について

このたび米国外科学会 (American College of Surgeons) より2014年の国際客員奨学金 (International Guest Scholarship) が授与されることになりましたのでご報告いたします。



この客員奨学金というものは、米国外科学会が国際的な外科教育と研究を広げるために1968年に始めたプログラムで今回が46年目になります。初期は主に南米の外科医を米国に招待していたようですが、1980年からは対象を全世界に広げています。各国の大学病院などの教育的機関に勤務して外科の診療、研究、教育に携わっている35から45歳まで外科医が応募できます。米国外科学会の審査委員会で毎年8-10人が選出される狭き門で過去に全世界から約450人の外科医が受賞していますが、日本人は今回の私で5人目であり今年も1人だけでした。

この奨学金受賞により実際にすることは主に2つあります。1つは毎年10月にある米国外科学会総会に招待されて講演を行い、米国の外科医と交流することです。もう1つはそれぞれの受賞者が希望する米国の病院に滞在し最先端の医療を学ぶ機会が与えられます。今回、私がかねてからの念願であったジョンズ・ホプキンス大学病院の膵臓外科で勉強する機会をいただきました。ジョンズ・ホプキンス大学は現在の膵臓外科の礎を築いたジョン・キャメロン教授が率いる米国最高峰の膵・胆道癌治療チームであり、私のような日本の一外科医を受け入れてくれる懐の深さに感激しています。

本奨学金の趣旨は、米国で学んだことを自国に持ち帰ってさらに発展させることです。今回の滞在は数週間の予定ですが、帰国後には別府病院で治療を受ける患者さん



に還元できるように勉強の機会を存分に生かしたいと思います。今回の賞は小さなことではありますが、地方都市である別府から世界へ直接広がる道があるということと一緒に感じていただければ望外の幸せです。

(文責:外科 杉町圭史)

たなか乳腺・外科・内科クリニック

院長 田中 文明 先生

副院長 田中 彰子 先生



たなか乳腺・外科・内科クリニック



田中文明院長(右)と彰子副院長(左)

平成24年3月に九大別府病院を退職し、同年4月に妻(田中彰子、平成2年度九大生医研気候内科入局)と二人で、たなか乳腺・外科・内科クリニックを開業し、1年8ヶ月が過ぎました。妻の父のくまのみどう医院(産婦人科、内科)を継承しました。

家屋は、明治40年に建てられた築100年を超える木造建築です。元は日本旅館として建てられたものを、妻の祖父が購入し、昭和初期に産婦人科を始めたそうです。祖父は若くして亡くなり、その後約30年間数名の医師にお貸しし、全ての先生が成功され、ご自分の病院を建てられたという“縁起のいい”場所だそうです。

院長は、乳がん検診、乳がん検診後の精密検査、乳房の自覚症状(しこり、痛み、違和感)がある方の精密検査、また癌と診断され手術後のホルモン治療、抗癌剤治療、経過観察を主としています。九大病院から10年以上継続して通院してくださっている患者さんもいらっしゃいます。副院長

は、高血圧、心臓病、呼吸器疾患、糖尿病などの生活習慣病を中心に、風邪やちょっとした症状に対しても女性ならではの指導を行い、クリニックのご近所さんがだんだん増えてきました。

当院は19床の有床診療所で、入院患者さんは高齢の内科的新患の方が中心です。九大病院をはじめ各病院と連携して診療を行っています。

何も症状がない乳がん検診では、マンモグラフィ撮影、診察、すべて女性が担当しています。乳癌は大分県で1年間に500人以上の方が手術を受けている病気で、女性がかかる癌の中でもっとも患者さんの数が多いのが現状です。早期に見つければ、完全に癌を治すことができる病気です。そのためには、症状がないうちに癌を発見することが大切になります。また、乳癌にかかる年代の方は、気がつかないうちに高血圧、糖尿病などの生活習慣病にもなっていることがあります。これも、食事をはじめとする生活をあらためることで薬を使わなくてもよくなることがしばしばあります。副院長

◆DATA

住所：別府市中央町8-30

電話：0977-25-5200

FAX：0977-75-8433

資格：院長：乳腺専門医、外科専門医、
消化器外科専門医

副院長：内科認定医

H P: <http://tanaka-bsi-clinic.jimdo.com>

◆アクセスMAP



長は妻であり母であり医師であるので、広い観点から患者さんにアイデアをだして、いい生活に戻すアドバイスをを行っています。

患者さんに癌が見つかった場合、患者さんがご希望する病院を紹介し、できるだけ私も手術に参加するようにしています。手術後は、また当クリニックに引き続いて通っていただいている患者さんもたくさんいらっしゃいます。

クリニックの目標

- ここ来るとホッとする温かい
“家庭的な医院”を目指します
- 患者さんのことを思って“笑顔と真心”で
診療します
- スタッフ一同“和”をもって
“感謝と反省”を忘れないように努めます

先進医療は九大別府病院がついているので、心のよりどころが近くにあるという安心感に包まれて日常診療を実施しています。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



フェイスブックもご覧ください。

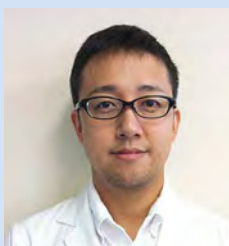
<https://www.facebook.com/TanakaBSIclinic>

今回から、当院へご紹介いただいている先生方の「紹介元の医療機関のご紹介」を、毎回掲載する予定です。広報誌は、県内の医療機関（病院・医院・クリニック）、九州大学病院本院（福岡）、別府市内の施設関係等に配布しております。掲載をご希望の医療機関は、地域医療連携室（0977-27-2055）までご連絡いただけますようお願いいたします。（地域医療連携室長 平川 雅和）

新任医療職員紹介

8月以降に採用となった職員の紹介を致します。

①出身県 ②所属病棟 ③趣味・特技等 ④自分の目標・目指している看護 ⑤この病院の良いところ、コメント等



外科

高野 裕樹

卒業大学：東京慈恵会医科大学、平成19年卒、東京慈恵会医科大学外科学講座

専門分野：消化器外科

所属：消化器外科

コメント：大分にはまだまだ不慣れですが、皆様のお手伝いができるように頑張ります。

趣味等PR：映画鑑賞、水泳。自然が多いので、いろいろ楽しみたいです。



外科

松村 多恵

卒業大学：三重大学医学部医学科 平成17年卒
(所属医局)大阪大学消化器外科

専門分野：一般外科、外科専門医

所属：日本外科学会、日本緩和医療学会、日本消化器外科学会、日本肝胆膵外科学会(いずれも会員)

コメント：一処置一治療、患者さんに安心して治療に臨んでいただけるように心がけます。

趣味等PR：最近、昔ながらの純喫茶巡りにはまっています。病棟と外来診療のお手伝いが主な業務ですが、早く馴染めるようにいたします。よろしくお願いします。



看護師

大川 奈美

- ① 大分県
- ② 4階病棟
- ③ 映画鑑賞、カフェ巡り
特技：リフレクトロジー
- ④ 人の心に寄り添え、笑顔の絶えない看護をする。
- ⑤ 敷地内には多くの自然があり、温泉も湧き出ているという素敵な環境に恵まれながら仕事ができる事を嬉しく思っています。仕事に慣れるまでは分からない事が多いですが、頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。



看護師

佐々木 英子

- ① 大分県
- ② 4階病棟
- ③ スキューバダイビング
- ④ 患者さんの立場に立って、看護をしたいと思います。
- ⑤ 春には桜がきれいに咲き、景観が美しい所。又、マニュアルがしっかりとっている所。

認定証を取得しました！

日本消化管学会 胃腸科指導施設証

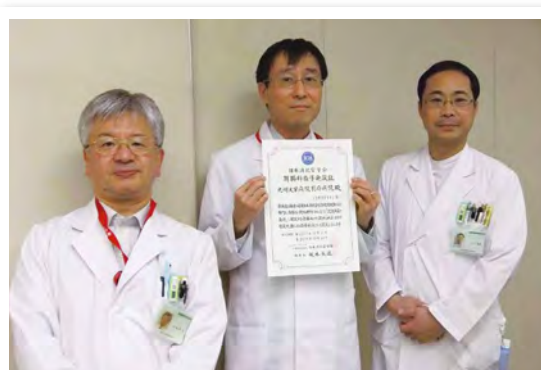
この度、当院は、日本消化管学会から、暫定処置による「胃腸科指導施設」として認定されました。胃腸疾患の原因精査、治療がございましたら、お気軽にご紹介ください。



日本消化管学会
胃腸科指導施設証

CTコロノグラフィのみでもお受けいたします。

診療の充実とスタッフの教育・育成に努めますとともに、今後も消化管疾患の診療、治療に関わる研究をさらに進めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



左より 有田医師、坂本医師、江口医師

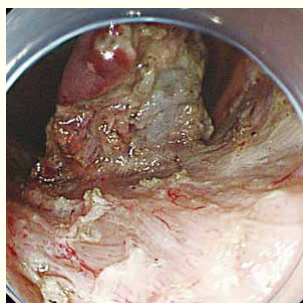
（文責：放射線科 坂本勝美、内科 有田好之、外科 江口英利）

新設外来のご案内

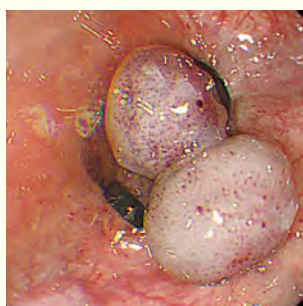
消化器内視鏡外来をはじめました！



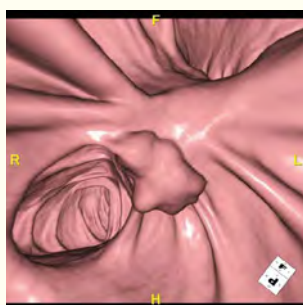
▲胆管狭窄の ERBD



▲早期胃癌の ESD



▲食道静脈瘤の EVL



▲CT コロノグラフィー
(大腸癌)

九州大学病院別府病院では、消化器内視鏡による上部消化管（食道、胃十二指腸）、下部消化管（大腸）に対する検査・治療、また膵胆管に対するERCPを用いた検査・治療を、積極的に行っています。

また、消化管出血（潰瘍出血、食道胃静脈瘤）に対する止血術などにも可能な限り対応しております。消化器内視鏡外来の担当は放射線科坂本勝美、内科有田好之、外科江口英利はじめ外科担当医です。

消化管疾患に関しては、通常の上部または下部消化管内視鏡検査だけでなく、超音波内視鏡、拡大内視鏡、NBI(Narrow Band Imaging)等を併せて行うことにより診断精度の高い検査を行っております。また、CT colonographyは内視鏡を使用せずにできる有用な大腸CT検査であり、患者さんの負担を軽減することが可能になりました。下部消化管内視鏡検査の困難な患者さんはお気軽にご相談下さい。一部の早期胃癌・大腸癌およびその前癌病変は、坂本医師を中心に行っているEMR(内視鏡的粘膜切除術)、ESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)といった内視鏡的治療による根治が可能となり、手術と比較して体に対する負担が大きく減少しています。また、食道静脈瘤に対してはEVL(内視鏡的静脈瘤結紮術)等を行っております。

胆膵疾患に関しては、有田医師が総胆管結石や癌による閉塞性黄疸の内視鏡的治療（内視鏡的切石術、膵管・胆管ステント留置）を行っております。PTCDなどのIVRや肝胆膵外科手術のバックアップのもと、安全な検査・処置を心懸けております。

消化器内視鏡外来では消化器疾患の患者さんに最善の検査・治療を提供することを目標としています。内視鏡所見のみならずCT、MRI、USなどの画像所見をもとに必要な場合には消化器外科専門医により速やかに外科治療を行えるよう各科が連携して診療しております。

なお、当院では内視鏡による治療は原則として入院で行うようにしておりますので一度外来にて診察させていただければ幸いです。

(文責：内科 有田好之、外科 江口英利、放射線科 坂本勝美)

九州大学病院別府病院 外来診療案内

(平成26年1月1日現在)

科名		診療区分	月	火	水	木	金								
内科	免疫・血液代謝内科	リウマチ膠原病	堀内孝彦 平瀬伸尚 有田好之	堀内孝彦 生山祥一郎 有田好之 塩沢俊一	生山祥一郎 平瀬伸尚 合田英明 塩沢俊一	病棟回診日	堀内孝彦 生山祥一郎 平瀬伸尚 有田好之								
		内分泌・糖尿病	有田好之	生山祥一郎 有田好之	生山祥一郎		生山祥一郎								
		血液病	平瀬伸尚	—————	平瀬伸尚		平瀬伸尚								
		骨粗しょう症	—————	生山祥一郎	生山祥一郎		生山祥一郎								
		消化器・脾疾患	有田好之	有田好之	—————		有田好之								
		循環・呼吸老年病内科	循環器・呼吸器	樋口義洋 小柳雅孔	樋口義洋		樋口義洋	樋口義洋(第2,4) 小柳雅孔	小柳雅孔						
	老年病	—————	前田豊樹	前田豊樹	前田豊樹	—————									
	睡眠時無呼吸外来	小柳雅孔	樋口義洋	樋口義洋	樋口義洋(第2,4) 小柳雅孔	小柳雅孔									
	禁煙外来(全予約制)	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医									
	外科	一般・消化管	肝・胆・脾	三森功士 杉町圭史 主藤朝也 江口英利	手術日	三森功士 杉町圭史 主藤朝也 江口英利	手術日	三森功士 杉町圭史 主藤朝也 江口英利							
									乳腺	三森功士 新田吉陽	三森功士 新田吉陽	三森功士 新田吉陽			
													肛門	主藤朝也	主藤朝也
セカンドオピニオン															
麻酔科													疼痛外来(全予約制)	手術日	手術日
整形外科									脊椎外科	手術日	土井俊郎 東野修 樽角清志	手術日	土井俊郎 東野修 樽角清志	手術日	
放射線科	放射線治療	渥美和重	渥美和重	—————	渥美和重	—————									
	放射線画像診断	平川雅和	坂本勝美	平川雅和	平川雅和	平川雅和									
共通 (内科・外科・放射線科)	上部消化器内視鏡	有田好之	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美	江口英利									
	下部消化器内視鏡	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美									
	EMR/ESD	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美									
	ERCP	有田好之			有田好之										

初診・再診の受付時間 8:30 ~ 12:00

整形(火・木) 一完全予約制: 初診は地域医療連携室へ要Tel

放射線治療(月・火・木) 一初診 8:30 ~ 11:00

※但し土日、祝祭日は休診(急患は除く)

地域医療
連携室より問合せ先
ご案内

◆CT・MR・内視鏡検査のご依頼

放射線科受付 0977-27-1722(直通)

- ・検査依頼は、電話にて受け付けております。
- ・依頼検査優先時間帯を設けています。
- ・結果は、CDデータ、報告書とともに、ご依頼いただきました先生方へ迅速にお返事いたします。

◆放射線治療のご依頼

地域医療連携室 0120-272-518(専用)
0977-27-2055

- ・乳癌、食道癌、肺癌、前立腺癌、悪性リンパ腫、癌性疼痛に対する緩和治療、その他の悪性腫瘍についてはご相談ください。
- ・放射線治療の診療は、事前に連絡をいただければ、待ち時間が少なくなるよう配慮させていただきます。

その他、外来・入院に関する
お問い合わせ

月~金 8:30~17:00 ☎0120-272-518(専用)

TEL: 0977-27-2055(直通) FAX: 0977-27-3008(24時間受信可)

九大別府病院だより Vol.9



九州大学病院別府病院

Kyushu University Beppu Hospital

〒874-0838 別府市大字鶴見字鶴見原 4546 番地

代表 TEL 0977-27-1600

URL <http://www.beppu.hosp.kyushu-u.ac.jp/>